

令和5年度 入試の情報開示について

一般選抜前期日程 保健看護学部

小論文

問1 解答例

がんが早期の場合は患者さん自身が頑張っ^て治療を受け、早く元気になろうという気持ちを持っているので、「励ます」ことが効果的である。再発・進行がんの場合は患者さんが落ち込まないように、「支える」ことばや治療が必要となる。例えば痛みで苦しんでいる患者さんに対しては、知識や技術、経験を提供して、痛みを和らげる。末期の場合は患者さんの側に居て、不安や苛立つ気持ちに「寄り添う」という態度が必要である。

問2 解答例

「励ます」は外から人を動かそうとするものであり、患者さんと空間を共にしていない。「励ます」は上から目線であるため、かなり注意しないと人を傷つけてしまう可能性がある。それに対し、「支える」と「寄り添う」は患者さんと空間を共にしているが、「支える」は下から支えるのに対し、「寄り添う」は横から寄り添うという方向性の違いがある。さらに、「支える」は技術力の提供の意味合いが強く、痛みが和らぐなどの客観的な効果を感じられるのに対し、「寄り添う」は技術力だけでなく全人的医療を提供するものであるが、患者さんが最期を迎えた時にその効果を感じにくい。つまり、「寄り添う」とはある種の無償の行為である。

問3 出題意図

本文を正確に理解する読解力を問う。問題文を字数制限の中での的確に説明できているか、さらに、本文中の筆者の考えに同意見あるいは反論を加え、自身が主張したいことを論理的に展開出来ているかを評価する。